令和５（２０２３）年度　事業報告書

（令和５（２０２３）年４月１日～令和６（２０２４）年３月３１日）

日本みらいの夢財団
公益財団法人

Ⅰ.基本方針

1. 児童の福祉と発達の促進：基本方針の最優先目標は、児童養護施設で暮らす子どもたちの福祉と発達を促進することです。助成金の支給は、彼らの生活環境や教育、医療、心理支援など、必要なサービスやプログラムの提供を通じて、児童の成長と幸福感を向上させることを目指します。

2. 継続的な支援の提供：助成金の支給は、一時的な援助ではなく、継続的な支援を目指すものです。児童養護施設は、長期的なケアや安定した生活環境を提供する場所であり、助成金の支給はその運営やプログラムの持続性を確保するために行われます。

3. 透明性と責任の確保：公益法人としての助成金支給は、透明性と責任を重視する必要があります。基本方針では、助成金の申請・審査・配分プロセスの公正性と透明性を確保し、資金の適切な使途と成果の追跡を行うことを明示します。

4. 公益法人に求められるガバナンス体制を構築、社会の信頼を得た永続的な活動を行います。

Ⅱ.事業活動

１．助成事業

令和５（２０２３）年度も児童養護施設等で困難を抱えた子ども達の健全な育成と自立を支援する事業を行い、児童福祉の充実と向上に寄与することを目的として次の事業を行った。

（１）児童養護施設等に入所し生活する子ども達に対する助成事業

児童養護施設等が、子ども達のための教育活動として、助成対象期間内に実施する設備等の購入や活動の費用の助成を行った。

（1-1）募集概要

① 募集期間

令和５（２０２３）年6月1日から令和５（２０２３）年7月３１日まで

② 募集対象

令和５（２０２３）年4月1日から令和６（２０２４）年3月３１日までに実

施する事業

③　応募資格

児童養護施設等が、児童の生活環境の充実と、助成対象期間内に実施される生活環境に必要とされる設備等の購入や活動の費用で、当財団以外から重複して補助金や助成金の受給を受けていない又は受給を予定していない事業を対象とした。

④　助成金額

交付する助成金額の上限は１件につき５０万円とし、施設の規模に応じ上限額を設けた。

（２）応募結果及び助成先

①　応募総数：３２施設（うち９施設を助成対象として決定）

②　助成金支給実績一覧（５０音順）

施設名	事業内容	助成額(円)
安来学園	広島県の遊園地（みろくの里）への日帰りバス旅行	462,712
くずはの森	スキーの社会体験事業	498,920
ことりさわ学園	AED(心臓救命装置）の設置	204,325
自立援助ホーム　Ohana の家	長島スパーランドとジャズドリーム日帰り旅行	197,050
杉並学園	わくわく（日帰り）サマーキャンプ	260,000
赤十字子供の家	雪遊び　小学生以上（２班に分かれて実施）	500,000
徳島児童ホーム	児童のお泊り海水浴	500,000
ベトレヘム学園	スキー行事	500,000
星美ホーム	白馬岳縦走	255,840
	合計	3,378,847

（３）選考スケジュール

下記の日時にて助成先の選考及び決議を行った。

①　選考委員会

開催日：令和５（２０２３）年８月２９日

開催場所：遠隔会議システムを利用して実施（Ｚｏｏｍ）

②　理事会

開催日：令和５（２０２３）年９月７日（決議省略にて実施）

提案日：令和５（２０２３）年８月３０日

（４）活動報告

①　完了報告

ア．安来学園

助成事項：広島県の遊園地（みろくの里)への日帰りバス旅行

報告事項：コロナ禍により、学校生活や園内生活に厳しいに制限がかかる中、各種イベントも中止、縮小を余儀なくされ、子供たちに長い問活動を我慢させてきました。今回久しぶりの児童レク行事の開催ということもあり、出発のバスの中ではDVDの鑑賞やおしゃべりにより歓声を上げていました。遊園地にいったことのない子も多く、どんな所かと行く前から期待に胸をふくらませていて、到着すると担当の職員や児童同士で思い思いのアトラクションや乗り物を楽しみ、笑顔いっぱいでした。また、お昼には現地でランチやデザートを食し、楽しい一日となりました。今回児童・職員揃っての久しぶりの開催であったため、笑顔が絶えず楽しい思い出がいっぱい残りました。児童もグループ毎の絆ばかりでなく、他グループの児童との交流も多く、学園全体の結束も高まったように感じました。今後も児童が楽しめる行事を開催することで児童が更なる楽しい学園生活が送れるよう努めたいと思います。

イ．くずはの森

助成事項：スキーの社会体験事業

報告事項：学校の予定・体調不良により、参加できなかった子どもがいましたが、施設の皆で出かけることができる貴重な経験ができました。初めてスキーをした子どもは、何度も転びながら途中で諦めることなく、練習して、滑ることができました。中高生は、スノーボードに挑戦し、それぞれ楽しむことが出来ていました。運動の苦手な子どももいましたが、スキー旅行が終わってからも、引率でなかった職員に対して、自分の頑張り、成果を報告する姿に楽しかった様子が伝わってきました。子どもたちと共有の思い出を作ることができたのは、職員にとっても励みになります。

このような機会を作って頂き、ありがとうございました。

ウ．ことりさわ学園

助成事項：AED（心臓救命装置）の設置

報告事項：助成金で新しい AED を購入し、入所児童の救命対応に備えることができました。誠にありがとうございました。

エ．自立援助ホーム　Ohana の家

助成事項：長島スパーランドとジャズドリーム日帰り旅行

報告事項：ホーム全員で行く行楽がこの 4 年間、全くなくなっており、また、今年度のメンバー全員でのお出かけも初めてであったこともあり、出発前か

ら子どもたちはどこへ行く、何を買うなどと盛り上がっていました。
当日は、雨こそ降らなかったものの曇りがちで寒い日でしたが、そんなことはお構いなく自然にグループに分かれ、思い思いの乗り物に乗ったり買い物を楽しんだりと、普段の生活では見られないような笑顔で楽しんでいました。スタッフも、彼女らの楽しそうな姿を見ることができ癒されました。このような機会をいただけたことに感謝しています。ありがとうございました。

オ．杉並学園

助成事項：長島スパーランドとジャズドリーム日帰り旅行

報告事項：助成金により、「わくわくサマーキャンプ」という入所児童の夏休みのイベントを実施させていただきました。このイベントはもともと毎年恒例でおこなっており、子どもたちも非常に楽しみにしていたのですが、新型コロナウィルスの流行以来ずっと中止になっていました。今回、ご助力いただいたお陰で４年ぶりに復活させることができ、子ども達は八王子市の「夕やけ小やけふれあいの里」にて、芝生での鬼ごっこ、川遊び、バーベキュー、スイカわりと、高尾の大自然を満喫することができました。都会にある施設故、なかなか日頃から自然に触れたり、思いっきり走り回って遊んだりすることができないので、大変貴重な機会になりました。職員一同、心より御礼申し上げます。

カ．赤十字子供の家

助成事項：雪遊び　小学生以上（２班に分かれて実施）

報告事項：小学４年以上の子はスキーや雪遊びを楽しむことが出来ました。子供によってはスキーになじめない子もいましたが、それも経験と捉えています。ホテルに泊まることなども含めて、色々な経験が出来たことが自立に向けていい経験の積み重ねが出来ました。また、普段居室が違う子ども達が一つの行事を通して交流を深めることができたことも、今後の生活のプラスになると思います。

また、小学１～３年生の子達は、人数の都合でスキー教室が使えず、急遽職員が子ども達に教えることになりました。その方が子供達もリラックスできたようで、のびのびスキーを楽しむことが出来ました。宿泊や普段と違った風土や土地に触れることでいい経験になりました。また、宿泊先の食事がビュッフェスタイルであったことから普段の食事とは違い、楽しみながらいい経験になりました。

キ．徳島児童ホーム

助成事項：児童のお泊り海水浴

報告事項：コロナになるまで例年行っていたお泊まり海水浴に、数年ぶりに行くことができました。子ども達は海水浴が初めてだったり、お泊まりが初めてだったり、経験のある子どもでも数年ぶりだったり、天候も台風接近と重なってしまいましたが、何とかお天気に合わせて開催することができ、そ

の時々のイベントを子ども達みんないきいきと楽しむことができました。ホームの外や団体行動でしか得ることのできない経験ができたと思います。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

ク．ベトレヘム学園

助成事項：スキー行事

報告事項：コロナ禍で行事自体も縮小し、集団での外出の機会も実施できずの状況でした。数年前から子どもたちの要望である、冬スポーツの経験が出来るよう、今回助成金を活用して計画を立て、実行することが出来ました。助成金を含めた予算の中で宿泊、ゲレンデでの活動など、有意義な時間を過ごすことが出来ました。小学生１年生から６年生まで総勢１７名全員が大きなけがもなく無事に行くことが出来ました。中にはバスに乗ることも初めての子や、高速道路で遠出をすることも初めてという子もいました。道中も、様々な景色に疑問や発見を見つけることも多くあり、スキー行事の中でも様々な学びと経験をすることが出来ました。子どもたちからも「すごく楽しかった」「また行きたい」「こんなことできるようになったんだよ」と喜ぶ声が多く聞かれました。

今回このような機会を頂き、子どもたちに貴重な体験を用意する事が出来ました。本当にありがとうございました。

ケ．星美ホーム

助成事項：白馬岳縦走

報告事項：「心の回復～野生イルカと島民のふれ合いを通して～」を実施予定でしたが、天候不良に２度の欠航となり、実施することができませんでした　（２０２３年8月と２０２４年３月に実施予定でした)。 代替プログラムとして同じ児童を対象に登山プログラムを実施しました。普段、何もしなくても時間が過ぎていく日常生活を飛び出し、少し大変なこと、苦しいこと、それらを自分で、仲間で乗り越える体験をすることは、人生において大切なことだと考えています。固定概念が固着化すると「自分は〇〇な人だ」、「どうせ〇〇だから」と、過去の自分と比較し、本当の自分の力を発揮できない場合があります。その自信なさが、社会生活での不適応の一因になっており、困難な状況を打開していく力が不足しているように思います。

今回のプログラムである白馬岳縦走は、誰に対しても平等で、雄大な自然の中で自分の足で、意志で進まなければならない環境において、自分の本来もっている力を実感し、前向きに物事をとらえられるきっかけになればと思います。活動後、「途中、無理だと思ったけど頑張れた」、「頂上についたときはめちゃくちゃ感動した」、「みんながいたから頑張れた」など、自分やグループについて考えていた 様子が伺えました。また、活動以外の時間でも、引率職員や登山者と触れ合う時間があり、時間に追われないゆっくりとした

空間の中で色々な話をしていました。不登校など、日常で生きづらさを感じている子ども達ではありますが、このような体験を積み重ねていくことで、少しでも前向きに、少しでも自分を認められるようになっていってほしいと思っています。そのために、自然環境を舞台にした活動は大変有意義であると考えており、このような助成金があることは大変ありがたいです。この度は、ありがとうございました。

Ⅲ.法人運営

１.理事会・評議員会の開催

（１）理事会

① 開催日：令和５（２０２３）年９月７日（決議省略にて実施）
提案日：令和５（２０２３）年８月３０日
第一号議事　令和５年度児童養護施設等助成金の応募選考の件

② 開催日：令和６（２０２４）年３月２５日
開催場所：遠隔会議システムを利用して実施（Ｚｏｏｍ）
第一号議事　令和６（２０２４）年度事業計画の件
第二号議事　令和６（２０２４）年度収支予算書の件
報告事項　代表理事の職務執行状況報告

以上